

【樹木・草花の部屋】

タマリユウ（クサスギカズラ科スズラン亜科ジャノヒゲ属

Ophiopogon japonicus)

和名；ジャノヒゲ 別名；リュウノヒゲ 英名；Mondo grass

クサスギカズラ目 常緑多年草

原産地； 東アジア

花言葉；変わらぬ想い

花の色；



⇒ 写真－1 ジャノヒゲ

撮影日：2012年8月18日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

写真－2 コクリュウ ⇒

撮影日：2012年8月18日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん



知人の庭隅で「リュウノヒゲ」らしい黒い植物を見つけました。当初、あれ？「リュウノヒゲ」に黒いペンキが？なにか工事でもされた余波かなと思いきや、ご主人曰く、黒い色をした「リュウノヒゲ」ですよ。と。調べてみると「コクリュウ」だそうです。他に白スジ斑の「ハクリュウ」、黄星斑種もあるとか……。ジャノヒゲ、リュウノヒゲ、タマリユウ……。どう区別したらよいのか？ちなみに「コクリュウ」は新芽と葉の裏側は緑色でした。

【樹木・草花の部屋】

写真-3 タマリユウ ⇒

撮影日：2012年7月31日

撮影場所：奈良県大和郡山市
M邸にて

撮影者：Mさん



＜ちょっと一言＞

リュウノヒゲ：一般種で、背丈は20cm程度。

タマリユウ：大きくても10cm程度の矮性種。やや葉が幅広い。強陰地など悪条件にも耐え、草丈も大きくなり、草刈などもあまり必要としない。

表情の乏しい地味な植物ですが、緑の面を創るに際しては最も適しており、最近では最も使われているグランドカバープランツ。数年すると密生状態になり次第に盛り上がってきます。駐車場の草目地などでは、つまずきの原因になるため刈り込み・刈戻しが必要です。刈り込みは大鋏や芝刈機・草刈機などでおこないますが、刈り込み直後、傷口となり白くなりますが一ヶ月程度で目立たなくなります、刃を良く手入れして刈ると回復は早い。

できれば5～6年に1回、全て掘上、一株ずつ、約3cm間隔で再植付すると元のこじんまりとした美しさを再生することができます。

リュウノヒゲの園芸品種にコクリュウ(黒竜)とハクリュウ(白竜)があります。

コクリュウ：リュウノヒゲの葉が黒い品種。葉焼けにやや強い。

ハクリュウ：リュウノヒゲに白い斑が入った品種。真冬でも真夏でも葉を茂らせていて、大変丈夫。

ジャノヒゲの「茎」は食用とされている地方もあるとか……。湯がいてからアゲなどと一緒に煮て食べるそうです。

根は所々太く紡錘形になり、これを麦門冬(ばくもんどう)と称して鎮咳・強壮などに用いられ、日本薬局方に収録されている生薬だそうです。麦門冬は、麦門冬湯(ばくもんどうとう)、清肺湯(せいはいとう)などの漢方剤にも使われているそうです。”